

附属やまぐち学園だより

やまぐち学園教育目標：発見し、はくくみ、かたちにする学びの広場
めざす人間像：よりよい未来を共に創り出す人間

第3号 2022年8月23日(火)

山口大学教育学部附属幼稚園

〒753-0070 山口市白石三丁目1番2号 TEL 083-933-5960

山口大学教育学部附属山口小学校

〒753-0070 山口市白石三丁目1番1号 TEL 083-933-5950

山口大学教育学部附属山口中学校

〒753-0070 山口市白石一丁目9番1号 TEL 083-922-2824

なぜ幼小中一貫教育に取り組むのか

山口大学 教育学部 副学部長 松岡 勝彦

本年4月1日付で山口大学教育学部副学部長（附属やまぐち学園担当）職を拝命いたしました、松岡 勝彦（まつおか かつひこ）と申します。どうぞよろしくお願い致します。

すでに様々な機会タイトルについてご承知おき頂いている皆様も多くいらっしゃるかと存じますが、今回あらためて「なぜ幼小中一貫教育に取り組むのか」について、申し述べさせて頂きたいと思っております。敢えて結論から先に申し上げますと、「これに取り組むとメリットがあるから」と判断できます。まず、子供たちに対してメリットがもたらされます。また、学校としても自校の抱える課題解決につながる可能性が高くなります。例えば、学習面について言えば、大きな段差がないような系統的なカリキュラムが編成されるため、子供には無理が少なくなります。その結果、勉強について行けない可能性が下がります（⇒勉強について行ける子供たちが増えます）。勉強について行ける子供が増えることは、不登校の改善にもつながり、保護者や教師にとっても嬉しい事態です。また、

- ◎ 小学校低学年の教員は、中学校での学習や子供たちが中学校を卒業するときの姿をイメージしながら日々の教育活動を行っているのか
- ◎ 中学校の教員は、小学校のどの学年で何を学んで、何につまずいて今の子供たちの姿があるのかを知った上で指導に当たっているのか

以上のような問いに向き合い、肯定的な答えを導き出すこともできます。

これまでに指摘したメリットを実現するための方法として、全国の様々な取り組みにおいては、現行の6-3とは異なる学年段階の区切り（例：4-3-2）を設けているケースがみられます。その理由としては、

- ◎ 小学校高学年段階において子供の身体的発達が2年程度早期化している
- ◎ 不登校等の現象の芽は小学校4～6年生から生じている

等が挙げられています。これらに加え、経験的な理解で対応できる学習内容から理論的・抽象的な理解が必要な学習内容への橋渡しが必ずしも円滑に行われていないため、学習上のつまずきが顕在化し、中学校段階での学習に大きな支障を来していることも、学年段階の柔軟な区切りの設定が必要とされる理由として挙げられています。

以上のように、6-3以外の柔軟な学年段階の区切りを設定した方が成果が多いだろうと考えられます。幼稚園-小学校間、小学校-中学校間には、様々な差異が存在します。小学校-中学校間の差異としては、小学校は学級担任制ですが、中学校は教科担任制です。まず、このような指導体制の差異があります。また、小学校においては、日常生活に根ざすきめ細やかな指導が行われますが、中学校においては、抽象度の高い内容もかなり含まれてきます。さらに、小学校においては、定期試験は行われませんが、中学校においては、これが実施されるという、評価方法にも違いが出てきます。幼稚園-小学校-中学校間において子供たちが体験する段差の大きさに配慮し、その間の接続をより円滑にするため、幼小中一貫教育に取り組む必要性が生じました。

本年11月25日(金)開催の幼小中一貫教育実践研究発表会において、この取り組みについてご紹介をできたらと計画しておりますし、様々な方法を用いて情報発信に努めたいとも思っております。今後とも、附属やまぐち学園へのお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

【附属幼稚園】

6月11日(土)、3年ぶりに男性保護者の会(ピーマンJr.の会)を実施し、お父さんやお祖父さん方のご協力のもと新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながら保育参観や環境整備を行いました。普段園に足を運ぶ機会の少ない男性保護者のみなさんに子どもたちが好きな遊びに取り組んでいる姿を見ていただきました。環境整備はあいにく小雨でしたが、皆さんに力を合わせて除草や剪定をしていただき、あっというまに園庭がすっきりときれいになりました。

7月14日(木)には、幼稚園まつりを行いました。保護者の皆さんや教育学部の学生に協力していただき、縁日のような雰囲気で家族や友達と様々なコーナーを楽しみました。幼稚園まつりのフィナーレに園のみんなで「大内のお殿様」も踊り、夏祭り気分を満喫しました。



【附属山口小学校】

6月24日(金)の参観日には、本校の研究で取り組んでいる「創る科」の授業を公開しました。「創る科」の学習では、「比較する力」「問題を見出す力」など8つの価値を学習内容として直接的に扱い、各教科の学習や日常生活、また将来においても必要となる力を育成しています。授業の様子を保護者の皆様にご覧いただき、いただいたご意見を今後の授業や研究に生かしていきたいと考えています。



7月4日(月)に、本校委員会と中学校生徒会執行部との交流会を行いました。本校からは各委員会の委員長が参加し、各委員会の取組を伝えました。中学校では、生徒会が主体となって行事の企画・運営をしたり、各月の生活目標を立てたりしているようで、子供たちは主体的に取り組むことのよさを感じている様子でした。

7月11日(月)には、4年生が全校朝会で音楽発表をし、「虹」「WAになっておどろう」を披露しました。子供たちが主体となって練習計画を立てたり歌い方の工夫をしたりと、クラス一丸となって取り組むことで素敵な歌声を響かせることができました。主体的に取り組む経験が、中学校での合唱にも生きることを願っています。



【附属山口中学校】

6月の後半から7月にかけて、各学年で将来に関わる内容の行事が実施されています。1年生は、7月4日(月)に「薬物乱用ダメ絶対教室」が行われました。若年層の薬物使用が問題になっている昨今、自分のこととして考える機会となりました。



2年生は、6月22日(水)に「ライフプラン・セミナー」の授業を受けました。青年会議所の方が合わせて20人余り来校され、経験談を交えて話をしてくださったり、一人ひとりの話を聞いてくださったりしたことで、今後の自分の人生を見つめる貴重な時間を過ごすことができました。

3年生は、6月24日(金)に「第1回進路説明会」が行われました。オンラインによる開催とはなりましたが、高等学校の先生方からお話を聞いたことで、自分の進路を真剣に考えることができました。進路の手続きに関する第2回進路説明会は11月18日(金)に予定されています。

